

自治体排出量カルテ 目次

厚木市

項目	表示形式	対象年度	具体内容
自治体排出量カルテ① CO ₂ 排出量の現状把握			
○地方公共団体の部門・分野別CO ₂ 排出量（標準的手法）			
1) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比 平成17年度（2005年度）	円グラフ	2005年度	・標準的手法に基づくCO ₂ 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
2) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比 平成25年度（2013年度）	円グラフ	2013年度	・標準的手法に基づくCO ₂ 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
3) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比 令和4年度（2022年度）	円グラフ	2022年度	・標準的手法に基づくCO ₂ 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
4) 部門・分野別CO ₂ 排出量の推移	横上げ縦棒グラフ	2009～2022年度	・2009年度以降の部門・分野別CO ₂ 排出量の推移
5) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）	100%横上げ横棒グラフ	2022年度	・地方公共団体と該当都道府県平均、全国平均の部門・分野別のCO ₂ 排出量構成比の比較

自治体排出量カルテ② 活動量の現状把握			
○地方公共団体の活動量			
1) 部門・分野別指標の推移（廃棄物分野のみCO ₂ 排出量の推移）	折れ線グラフ・縦棒グラフ	2009～2022年度	・標準的手法の部門・分野別の活動量の推移

自治体排出量カルテ③ 特定事業所の温室効果ガス排出量の現状把握			
1 地方公共団体の特定事業所排出量			
1) 特定事業所の部門別排出量（令和3年度）	円グラフ	2021年度	・特定事業所の部門別排出量構成比
2) 特定事業所の部門別排出量の推移	横上げ縦棒グラフ	2011～2021年度	・2011年度以降の特定事業所の部門別排出量の推移
3) 特定事業所のガス種別排出量（令和3年度）	円グラフ	2021年度	・特定事業所のガス種別排出量構成比
4) 特定事業所のガス種別排出量の推移	横上げ縦棒グラフ	2011～2021年度	・2011年度以降の特定事業所のガス種別排出量の推移
5) 業種別の特定事業所の事業所数及び排出量（令和3年度）	横棒グラフ	2021年度	・特定事業所の業種別事業所数及び排出量
2 地方公共団体の区域のCO ₂ 排出量との比較			
6) 区域のCO ₂ 排出量の推移及び特定事業所排出量のカバー率の推移	横上げ縦棒・折れ線グラフ	2011～2021年度	・区域の産業部門・業務その他部門の排出量の推移と特定事業所排出量が占める割合（カバー率）の推移
3 全国の1事業所当たりの排出傾向との比較			
7) 1事業所当たりの排出傾向（全国平均値との比較）（令和3年度）	横棒グラフ	2021年度	・特定事業所1事業所当たりの排出量の全国平均との比較

自治体排出量カルテ④ 地方公共団体の再生可能エネルギー導入状況及び導入ポテンシャルの現状把握			
1 地方公共団体のFIT・FIP制度による再生可能エネルギー（電気）			
1) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量（令和5年度）	円グラフ	2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別の導入状況（導入設備容量）
2) 区域の再生可能エネルギーによる発電電力量（令和5年度）	円グラフ	2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別の導入状況（発電電力量）
3) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量の推移（累積）	横上げ縦棒・折れ線グラフ	2015～2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別導入設備容量の推移と区域の電気使用量に対するFIT・FIP太陽光導入比の推移
4) 区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数の推移（累積）	縦棒グラフ	2015～2023年度	・FIT・FIP公表情報の太陽光（10kW未満）の導入件数の推移
2 地方公共団体の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル			
5) 導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）	円グラフ	2024年11月末時点	・REPOSの再エネ導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）
6) 導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）	円グラフ	2024年11月末時点	・REPOSの再エネ導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）
3 区域のエネルギー消費量及び再生可能エネルギー導入ポテンシャル・導入量の比較（電気）			
7) 区域内のエネルギー消費量に対する再エネ導入ポテンシャル（電気）	縦棒グラフ	2023年度	・区域の電気使用量に対する再エネ導入量、再エネ導入ポテンシャルの比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用
8) 区域内の再エネ導入ポテンシャルと再エネ導入量（電気）	縦棒グラフ	2023年度	・再エネ種別の再エネ導入ポテンシャルに対する再エネ導入量の比較

※人口が同程度の他の地方公共団体との排出量の比較シート、他の地方公共団体との再エネ導入量や再エネポテンシャルの比較シート、特定事業所集計表シートも付録しています。

自治体排出量カルテ 他の地方公共団体との比較（部門・分野別排出量）			
1 部門・分野別排出量の比較（標準的手法）（令和3年度（2021年度））			
1) 部門・分野別CO ₂ 排出量の比較	横上げ横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の部門・分野別CO ₂ 排出量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比の比較	100%横上げ横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の部門・分野別CO ₂ 排出量構成比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2 区域の排出量に占める特定事業所排出量比率の比較（令和3年度（2021年度））			
3) 産業部門	横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の産業部門排出量に対し特定事業所排出量が占める割合（カバー率）を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
4) 業務その他部門	横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の業務その他部門排出量に対し特定事業所排出量が占める割合（カバー率）を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
3 特定事業所排出量の比較（令和3年度（2021年度））			
5) 特定事業所排出量の比較	横上げ横棒グラフ	2021年度	・特定事業所排出量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
6) 特定事業所数の比較	横上げ横棒グラフ	2021年度	・特定事業所数を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
7) 特定事業所排出量の部門別構成比の比較	100%横上げ横棒グラフ	2021年度	・特定事業所排出量の部門別構成比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較

自治体排出量カルテ 他の地方公共団体との比較（再エネ導入量・再エネポテンシャル）			
1 再エネ導入量の比較（令和5年度（2023年度））			
1) 他の地方公共団体との再エネ別導入設備容量の比較	横上げ横棒グラフ	2023年度	・再エネ別導入設備容量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2) 他の地方公共団体との再エネ別発電電力量の比較	横上げ横棒グラフ	2023年度	・再エネ別発電電力量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
3) 他の地方公共団体との対電気使用量FIT・FIP導入比の比較	横上げ横棒グラフ	2023年度	・対電気使用量FIT・FIP導入比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用
4) 対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比の比較	横棒グラフ	2023年度	・対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較 ※世帯数は2022年度で代用
2 再エネ導入ポテンシャルの比較			
5) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再エネポテンシャル（発電電力量）の比較	横上げ横棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の再エネポテンシャル（発電電力量）を同一都道府県内で比較
6) 同一都道府県内における他の地方公共団体の電気使用量の比較	横棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の電気使用量を同一都道府県内で比較（※2022年度で代用）
7) 同一都道府県内の他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量の比較	横棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量を同一都道府県内で比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用

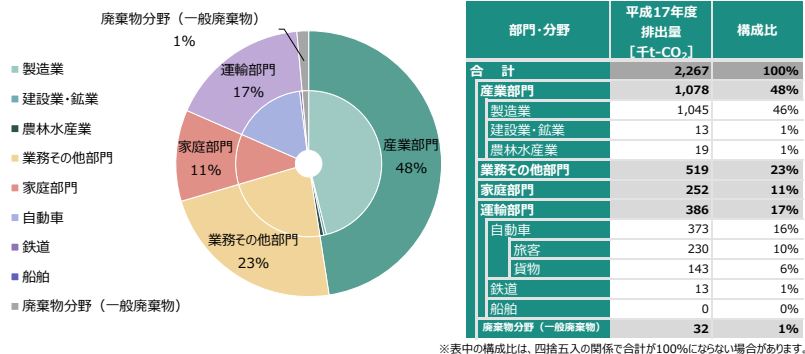
特定事業所集計表シート			
特定事業所集計表			
特定事業所集計表	表	2011～2021年度	・特定事業所の事業所数と排出量の集計表（日本標準産業分類別）

自治体排出量カルテ① CO₂排出量の現状把握

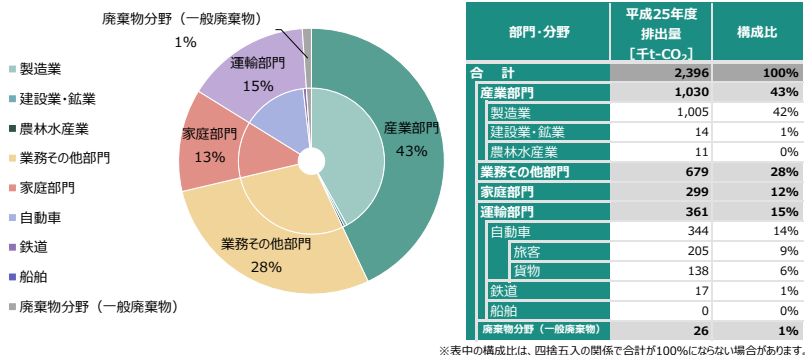
厚木市

○地方公共団体の部門・分野別CO₂排出量（標準的手法）

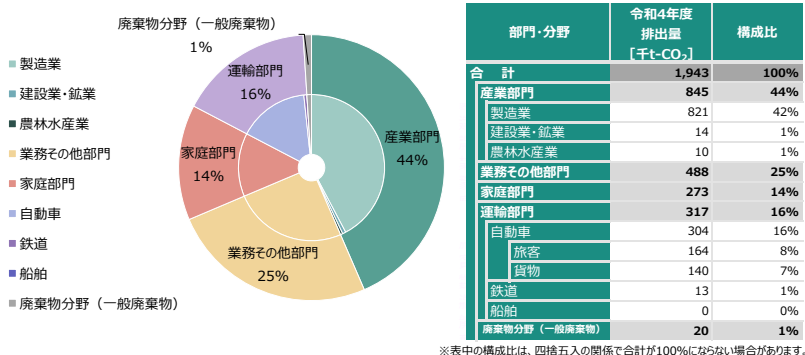
1) 部門・分野別CO₂排出量構成比 平成17年度（2005年度）



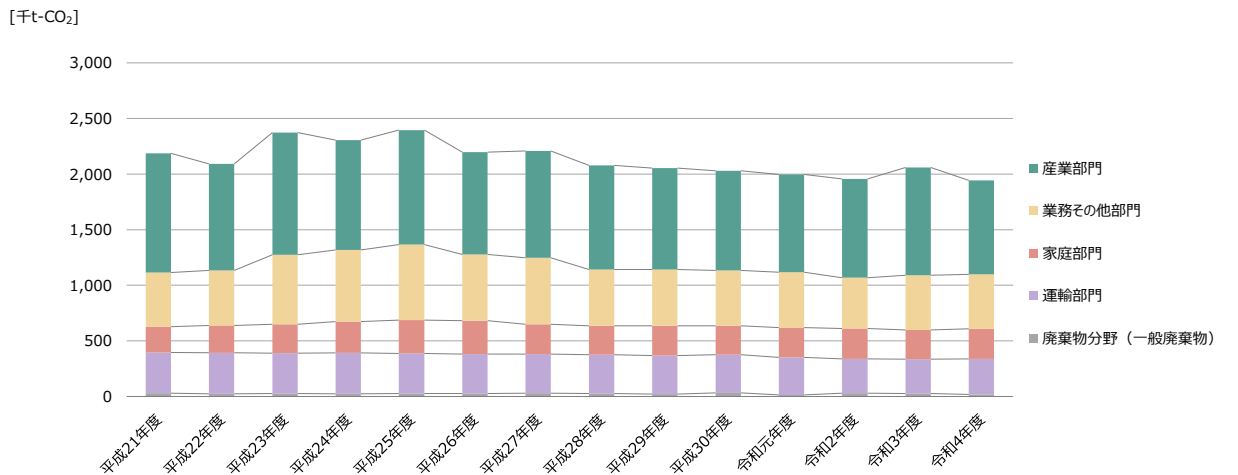
2) 部門・分野別CO₂排出量構成比 平成25年度（2013年度）



3) 部門・分野別CO₂排出量構成比 令和4年度（2022年度）



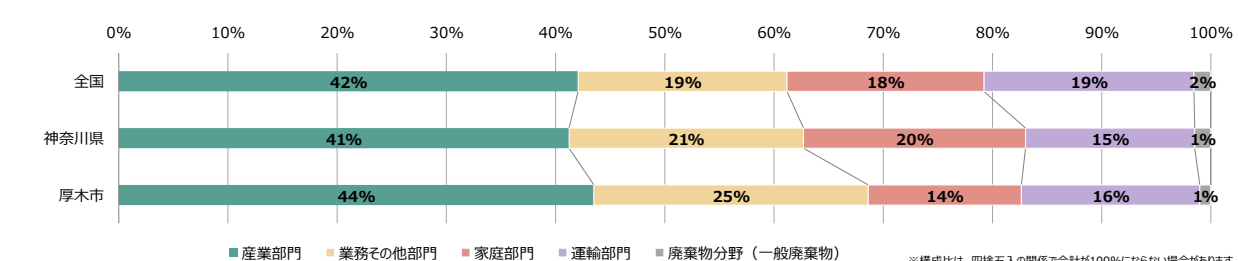
4) 部門・分野別CO₂排出量の推移



部門・分野	部門・分野別CO ₂ 排出量													
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
合 計	2,186	2,092	2,373	2,305	2,396	2,197	2,208	2,077	2,053	2,030	1,997	1,955	2,059	1,943
産業部門	1,072	959	1,099	988	1,030	921	960	936	910	896	879	888	969	845
製造業	1,047	935	1,070	960	1,005	890	928	902	873	868	851	861	939	821
建設業・鉱業	10	11	17	16	14	14	13	13	13	13	11	13	16	14
農林水産業	14	13	12	12	11	17	19	21	24	16	16	14	14	10
業務その他部門	488	495	625	643	679	595	598	507	506	499	498	457	493	488
家庭部門	230	245	261	281	299	301	269	260	268	261	268	274	263	273
運輸部門	367	368	362	367	361	352	352	348	346	342	338	307	309	317
自動車	354	355	347	350	344	336	336	332	331	328	324	294	296	304
旅客	217	216	213	213	205	196	195	193	191	188	183	161	156	164
貨物	137	139	134	137	138	139	141	139	139	140	141	134	140	140
鉄道	13	13	15	17	17	17	16	16	15	14	14	13	13	13
船舶	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄物分野（一般廃棄物）	29	25	26	25	26	28	29	26	23	32	14	29	26	20

※表中の内訳と小計・合計は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

5) 部門・分野別CO₂排出量構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）



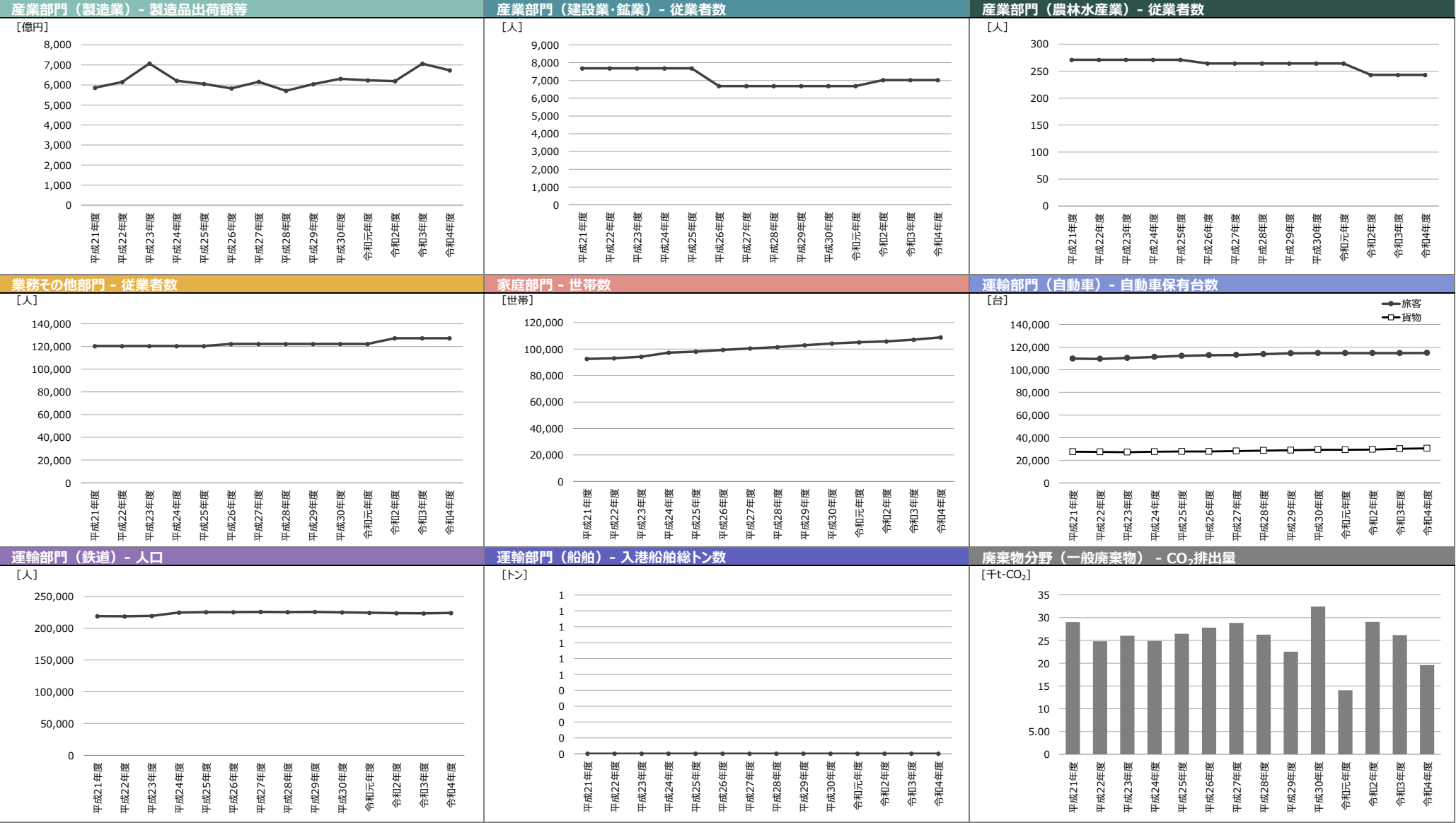
区域のCO₂排出量は、環境省「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」の標準的手法に基づき、統計資料の按分により地方公共団体別部門・分野別CO₂排出量を推計した値です。なお、一般廃棄物のCO₂排出量は、一般廃棄物処理実態調査結果の焼却施設ごとの年間処理量等から推計しています。

各地方公共団体の過年度のデータは、地方公共団体実行計画策定・実施支援サイト「部門別CO₂排出量の現状推計（部門別データ）」（https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/tools/suik2.html）を御参照ください。

本カルテに掲載している推計年度は、地方公共団体実行計画（区域施策編）で地域の温室効果ガス排出量の目標を策定する際に基準年度や現状年度として選択できます。令和4年度（2022年度）は最新の現状推計年度です。各部門・分野別CO₂排出量構成比を分析することで施策の検討に役立てることができます。

○地方公共団体の活動量

1) 部門・分野別指標の推移（廃棄物分野のみCO₂排出量の推移）



部門・分野別活動量の推移で示す各指標は、部門・分野別CO₂排出量の推計に用いた按分指標です。それぞれの指標の経年変化を分析することで、CO₂排出量の要因となる活動量がどのように増減しているかを把握することができます。

各指標の引用元は次のとおりです。製造品出荷額等（製造業）：令和元年度までは工業統計調査・令和2年度は経済センサス（活動調査）・令和3年度以降は経済構造実態調査、 従業者数（建設業・鉱業、農林水産業、業務その他部門）：令和元年度までは経済センサス（基礎調査）・令和2年度以降は経済センサス（活動調査）、 世帯数（家庭部門）：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査、 自動車保有台数（運輸部門）：一般財団法人自動車検査登録情報協会「市区町村別自動車保有車両数」及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会「市区町村別軽自動車車両数」、 人口（鉄道）：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査、 入港船舶総トン数（船舶）：港湾統計年報

なお、従業者数は経済センサス（基礎調査）を使用し、「平成20年度」、「平成21年度～平成25年度」、「平成26年度～令和元年度」をそれぞれ同じ統計から集計（廃棄物分野は令和元年度は推計）していましたが、令和3年経済センサスからは活動調査で把握されることとなり、令和2年度以降の従業者数は経済センサス（活動調査）から集計しています。廃棄物分野は按分ではなく一般廃棄物処理実態調査結果の焼却施設ごとの年間処理量等から推計しているため、推計したCO₂排出量の推移を掲載しています。

エネルギー多消費業種 [千t-CO₂]

業種	CO ₂ 排出量 (千t-CO ₂)
14: パルプ・紙・紙加工品製造業(N=1)	~100
16: 化学工業(N=1)	~50
17: 石油製品・石炭製品製造業(N=0)	~10
21: 窯業・土石製品製造業(N=0)	~10
22: 鉄鋼業(N=0)	~350

エネルギー多消費業種以外 [千t-CO₂]

業種	CO ₂ 排出量 (千t-CO ₂)
9: 食料品製造業(N=4)	~10
10: 飲料・たばこ・飲料製造業(N=1)	~15
11: 繊維工業(N=0)	~20
12: 木材・木製品製造業(N=0)	~10
13: 家具・装飾品製造業(N=0)	~10
15: 印刷・同関連業(N=2)	~10
18: プラスチック製品製造業(N=3)	~10
19: 工製品製造業(N=0)	~15
20: なめ革・同関連業・毛皮製造業(N=0)	~10
23: 非鉄金属製造業(N=0)	~250
24: 金属製品製造業(N=1)	~10
25: はん用機械器具製造業(N=1)	~15
26: 生産用機械器具製造業(N=0)	~10
27: 業務用機械器具製造業(N=1)	~10
28: 電子部品等製造業(N=3)	~350
29: 電気機械器具製造業(N=3)	~10
30: 情報通信機械器具製造業(N=0)	~10
31: 輸送用機械器具製造業(N=7)	~15
32: その他の製造業(N=0)	~10

業務その他部門 [千t-CO₂]

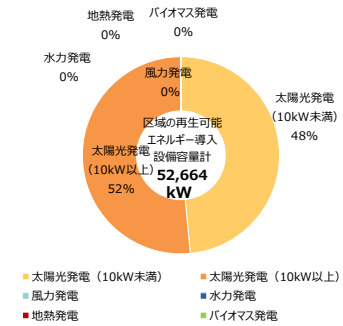
業種	CO ₂ 排出量 (千t-CO ₂)
F: 電気・ガス・熱供給・水道業(N=0)	~10
G: 情報通信業(N=2)	~15
H: 運輸業, 郵便業(N=1)	~10
I: 卸売業, 小売業(N=0)	~10
J: 金融業, 保険業(N=1)	~10
K: 不動産業, 物品賃貸業(N=2)	~10
L: 学術研究, 専門・技術サービス業(N=0)	~15
M: 宿泊業, 飲食サービス業(N=0)	~10
N: 生活関連サービス業, 娯楽業(N=1)	~10
O: 教育, 学習支援業(N=2)	~10
P: 医療, 福祉(N=2)	~10
Q: 複合サービス事業(N=0)	~10
R: サービス業(他に分類されない)(N=2)	~25
S: 公務(N=0)	~10

エネルギー転換部門 [千t-CO₂]

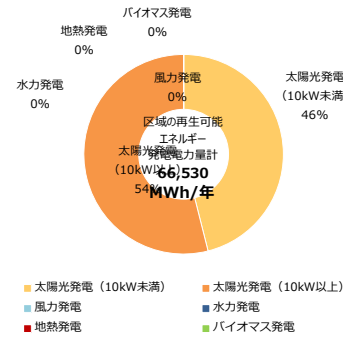
業種	CO ₂ 排出量 (千t-CO ₂)
石油精製業・コークス製造業(N=0)	~900
発電所・変電所(N=0)	~10
ガス製造工場(N=0)	~10
熱供給業(N=0)	~10

1 地方公共団体のFIT・FIP制度による再生可能エネルギー（電気）※1

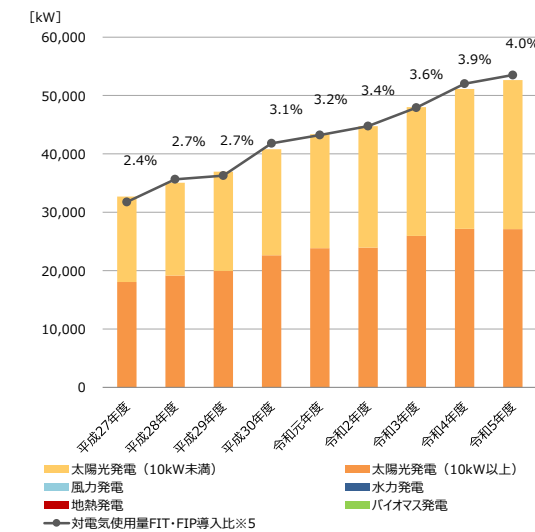
1) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量（令和5年度）



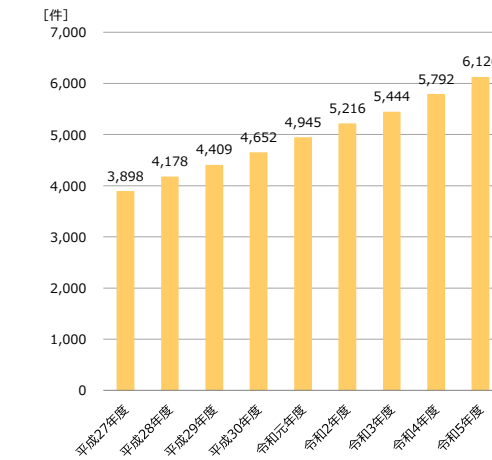
2) 区域の再生可能エネルギーによる発電電力量（令和5年度）



3) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量の推移（累積）



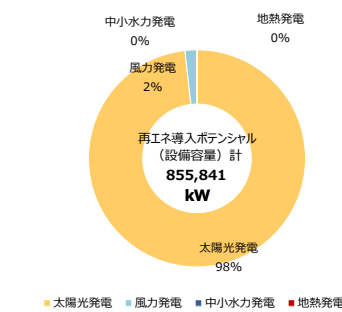
4) 区域の太陽光発電（10kW未満※6）設備の導入件数の推移（累積）



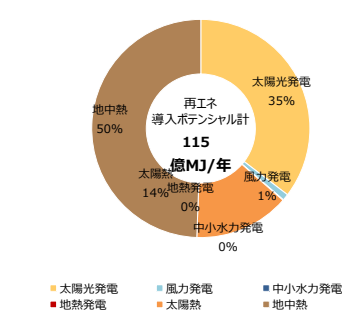
※6：区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数は比較的小規模な太陽光発電（住宅等に設置されるもの）を示すと考えられることから、住宅への太陽光発電の導入実績とみなすことができます。

2 地方公共団体の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル※7

5) 導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）



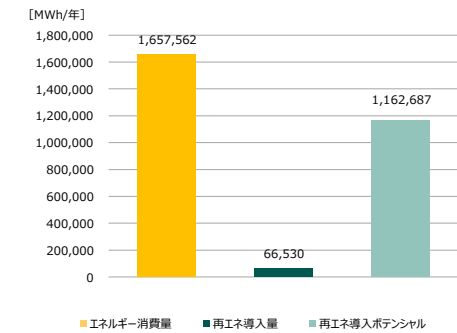
6) 導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）



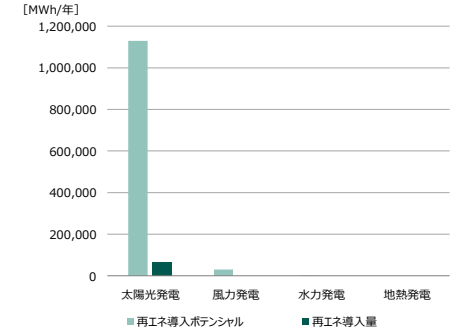
REPOS上に掲載されている再生可能エネルギーの導入ポテンシャルとは、設置可能面積、平均風速、河川流量等から理論的に算出することのできるエネルギー資源量（賦存量）のうち、法令、土地利用などによる制約（国立公園、土地の傾斜、居住地からの距離等）があるものを除いたエネルギー資源量です。あくまで一定の仮定を置いた上での推計値であることから、実際に導入可能な設備容量や発電電力量とは一致しません。目安として御活用ください。

3 区域のエネルギー消費量及び再生可能エネルギー導入ポテンシャル・導入量の比較（電気）

7) 区域内のエネルギー消費量に対する再エネ導入ポテンシャル（電気）



8) 区域内の再エネ導入ポテンシャルと再エネ導入量（電気）



区域のエネルギー消費量と再エネ導入ポテンシャル（電気）		再エネ導入ポテンシャルと再エネ導入量（電気）			
項目	値	再エネ導入ポテンシャル [MWh/年]	再エネ導入量 [MWh/年]	再エネポテンシャルに占める導入割合	
対電気使用量FIT・FIP導入比（再エネ自給率）	4.0%				
対電気使用量再エネ導入ポテンシャル比※9	70.1%				
再エネ不足量 [MWh/年]※10	494,874				
太陽光発電		1,129,330	66,530	5.9%	
風力発電		30,729	0	0.0%	
水力発電		2,628	0	0.0%	
地熱発電		0	0	-	

※9：（再エネ導入ポテンシャル） / （電気使用量）により算出します。

※10：電気使用量 > 再エネ導入ポテンシャルの場合は「再エネ不足量 [MWh/年]」、電気使用量 < 再エネ導入ポテンシャルの場合は「再エネ余剰量 [MWh/年]」を示します。

項目	設備容量 [kW]	発電電力量 [MWh/年]	導入ポテンシャル [億MJ/年]
太陽光発電	840,678	1,129,330	41
建物系	631,367	849,408	31
土地系	209,311	279,922	10
風力発電	14,800	30,729	1
中小水力発電	363	2,628	0
河川	221	1,446	0
農業用水路	142	1,181	0
地熱発電	0	0	0
蒸気フラッシュ発電	0	0	0
バイナリー発電	0	0	0
低温バイナリー発電	0	0	0
太陽熱	-	-	16
地中熱	-	-	57
再生可能エネルギー合計	855,841	1,162,687	115

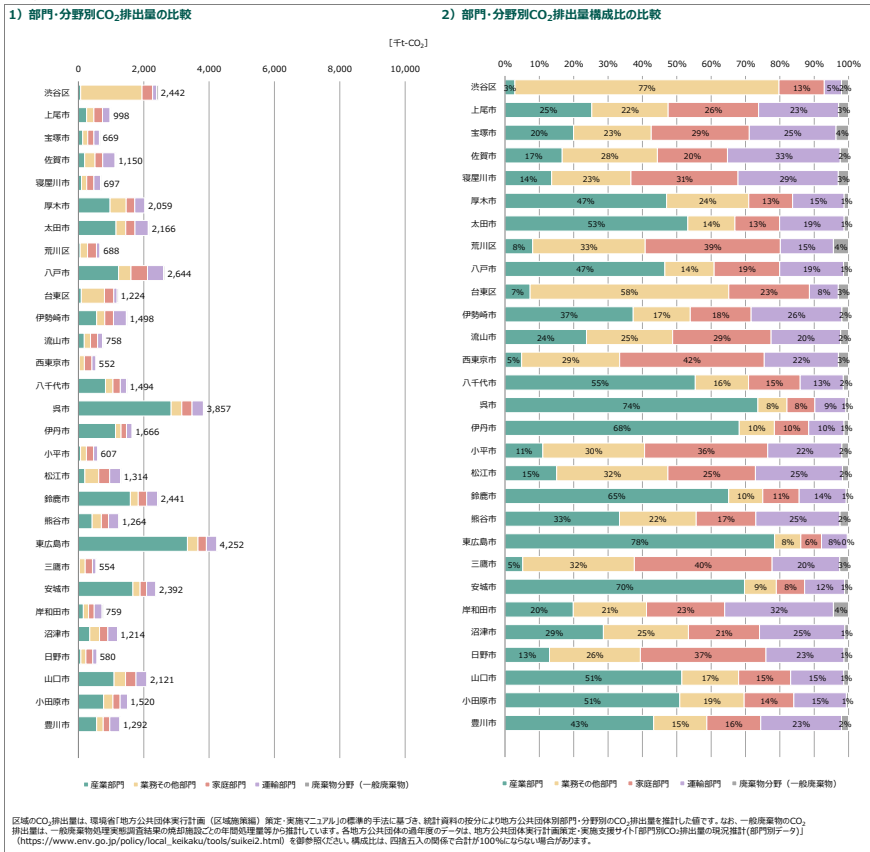
※7：最新の数値や算定方法、再エネや再エネ導入ポテンシャルの定義は、REPOSのHPを御参照ください。
<https://www.renewable-energy-potential.env.go.jp/RenewableEnergy/>

参考）再エネ導入ポテンシャルと再エネ導入量の集計対象の整理※8

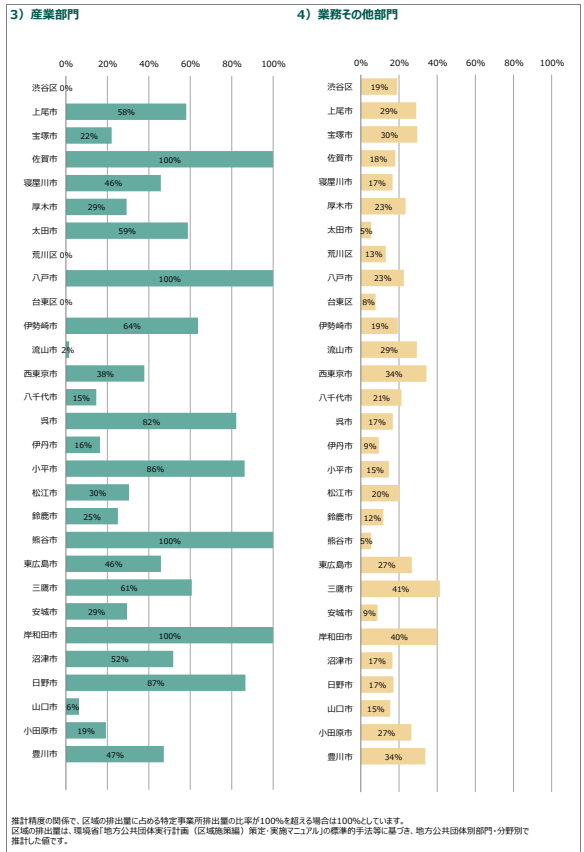
	再エネ導入ポテンシャル	再エネ導入量
データ出所	REPOS（ポテンシャル情報）	再エネ特措法 情報公表用ウェブサイト（全国・都道府県はA表、市町村はB表）
太陽光発電	太陽光発電（建物系・土地系）	太陽光発電（10kW未満・10kW以上）
風力発電	風力発電（陸上）	風力発電（20kW未満・20kW以上のうち洋上風力を除く）
水力発電	中小水力発電（河川・農業用水路）	水力発電
地熱発電	蒸気フラッシュ発電・バイナリー発電・低温バイナリー発電	地熱発電

※8：再エネ導入ポテンシャルと再エネ導入量のデータは、集計対象範囲や数値の算出方法が異なるため、あくまで目安として御活用ください。

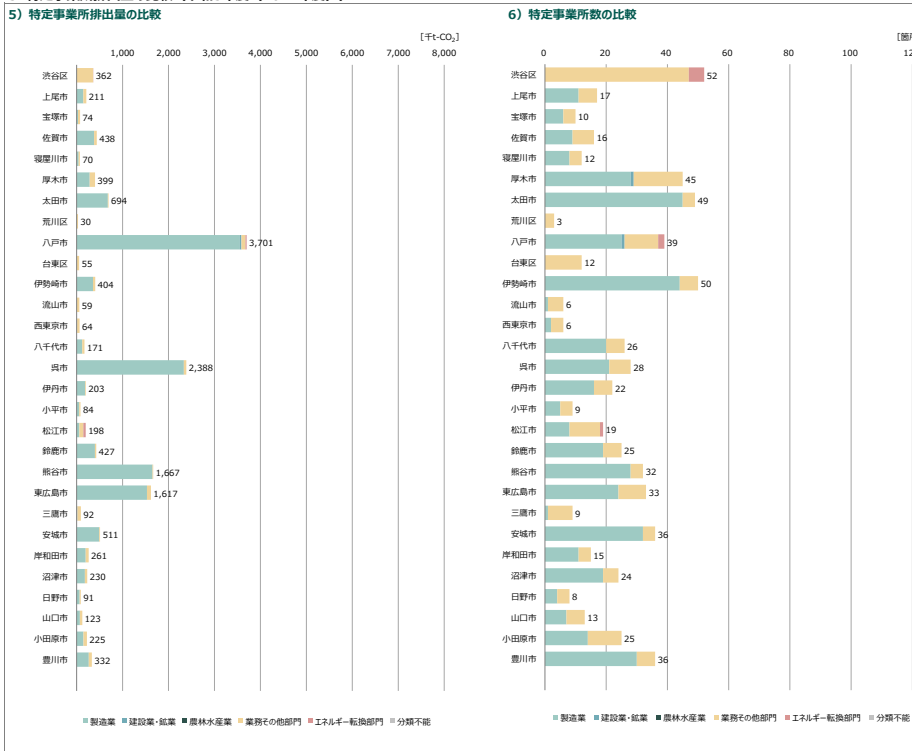
1 部門・分野別排出量の比較（標準的手法）（令和3年度（2021年度））



2 区域の排出量に占める特定事業所排出量比率の比較（令和3年度（2021年度））

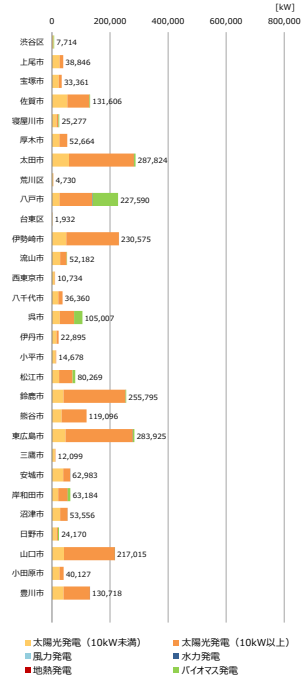


3 特定事業所排出量の比較（令和3年度（2021年度））

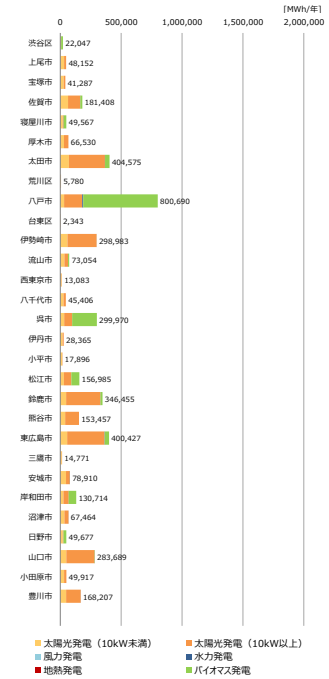


1 再エネ導入量の比較（令和5年度（2023年度））

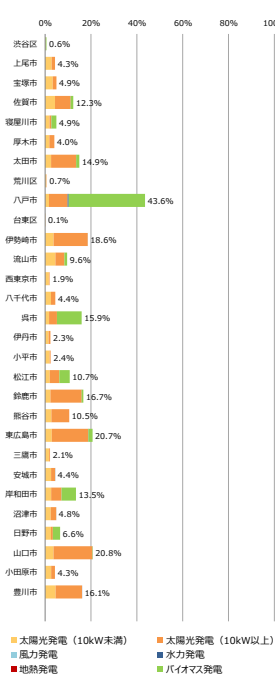
1) 他の地方公共団体との再エネ別導入設備容量の比較



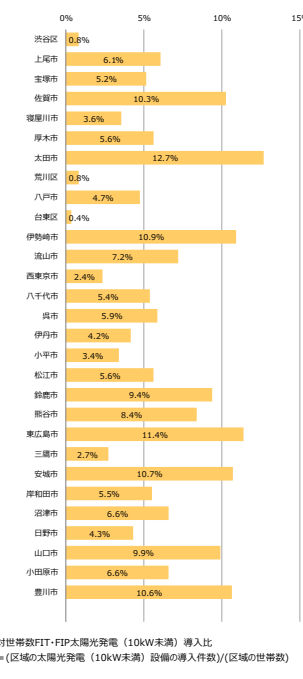
2) 他の地方公共団体との再エネ別発電電力量の比較



3) 他の地方公共団体との対電気使用量FIT・FIP導入比の比較



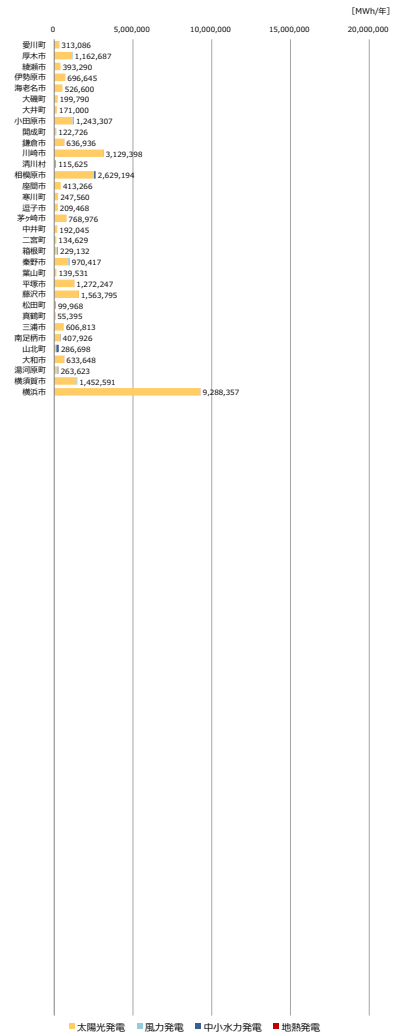
4) 対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比の比較



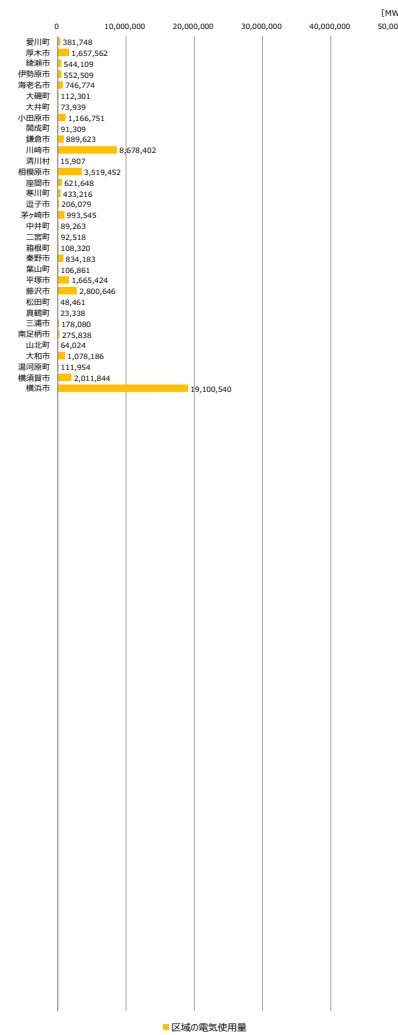
対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比
= (区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数）/（区域の世帯数）

2 再エネ導入ポテンシャルの比較

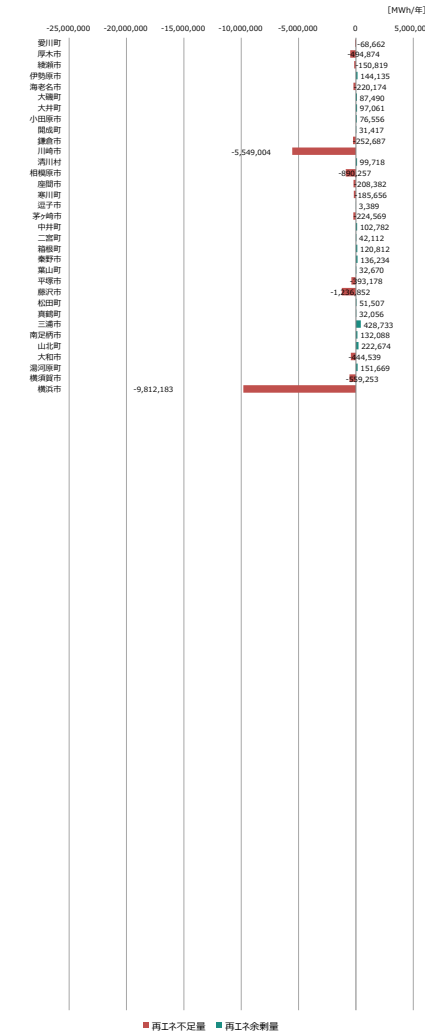
5) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再エネポテンシャル（発電電力量）の比較



6) 同一都道府県内における他の地方公共団体の電気使用量の比較



7) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量の比較



特定事業所集計表
厚木市

日本標準産業分類（平成25年10月改定）（平成26年4月1日施行）			特定事業所数【箇所】												特定事業所排出量【千t-CO ₂ 】											
大分類	中分類	細分類	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)		
			45	46	47	48	51	51	49	46	47	45	45	388	453	480	474	485	477	457	484	443	408	399		
合 計																										
農林水産業																										
建設業・鉱業			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	5	5	6	6	6	5	5	4	5	4		
製造業			27	27	29	29	30	30	28	26	28	28	28	283	332	359	351	329	327	321	335	308	285	280		
業種その他部門			17	18	17	18	20	20	20	19	18	18	16	101	116	116	117	150	144	131	144	130	118	116		
エネルギー転換部門																										
分類不能																										
A 農業、林業																										
1 農業																										
2 林業																										
B 漁業																										
3 漁業（水産養殖業を除く）																										
4 水産養殖業																										
C 鉱業、採石業、砂利採取業			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	5	5	6	6	6	5	5	4	5	4		
5 鉱業、採石業、砂利採取業			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	5	5	6	6	6	5	5	4	5	4		
D 建設業																										
6 総合工事業																										
7 建設工事業（設備工事業を除く）																										
8 建設工事業																										
E 製造業			27	27	29	29	30	30	28	26	28	28	28	283	332	359	351	329	327	321	335	308	285	280		
9 農林畜産品製造業			4	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4	15	17	19	21	21	21	18	18	17	16	16		
10 飲料・たばこ・飼料製造業			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	11	12	12	11	10	11	11	15	15	16		
11 繊維工業																										
12 木材・木製品製造業（家具を除く）																										
13 家具・装飾品製造業																										
14 化学・紙・紙加工品製造業			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	5	5	4	4	4		4	4	4		
15 印刷・同関連業			1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	8	9	9	8	10	10	11	36	10	10	10		
16 化学工業			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4		
17 石油製品・石炭精製業																										
1711 石油精製業																										
1721 コークス製造業																										
18 プラスチック製品製造業（別項を除く）			4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	14	15	18	16	15	15	14	14	14	12	13		
19 金属製品製造業																										
20 金属・半導体製造業・金属製造業																										
21 金属・土石製品製造業																										
22 陶磁業																										
23 非金属製品製造業																										
24 金属製品製造業			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8	8	8	9	8	8	8	8	8	7	8		
25 金属機械器具製造業			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	8	8	8	6	6	7	7	6	6	7		
26 金属機械器具製造業																										
27 家用機械器具製造業			1	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	9	10	13	14	14	15	12	13	12	11	10		
28 電子部品・デバイス・電子回路製造業			3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	78	90	90	84	77	75	69	68	67	63	48		
29 電気機械器具製造業			2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	9	12	13	13	12	11	10	10	15	20	22		
30 電気機械器具製造業																										
31 電気機械器具製造業			7	7	8	8	8	8	8	7	7	7	7	117	145	161	158	146	148	153	146	136	117	121		
32 その他の製造業																										
F 電気・ガス・熱供給・水道業																										
33 電気業																										
3311 発電所																										
3312 変電所																										
34 ガス業																										
3411 ガス製造工場																										
35 熱供給業																										
3511 熱供給業																										
36 水道業																										
G 情報通信業			4	4	4	4	4	4	4	3	2	2	2	35	39	38	36	36	31	30	29	25	18	23		
37 情報業			2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	28	31	30	29	29	24	23	22	21	15	20		
38 情報業																										
39 情報サービス業			2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	7	9	8	8	7	7	6	6	3	3	3		
40 インターネット情報サービス業																										
41 放送・音声・文字情報制作業																										
H 運輸業、郵便業						1	1	1	1	1	1	1	1				4	4	4	3	4	3	4	3		
42 陸運業																										
43 道路旅客運送業																										
44 道路貨物運送業						1	1	1	1	1	1	1	1				4	4	4	3	4	3	4	3		
45 水運業																										
46 航空運輸業																										
47 倉庫業																										
48 運輸・郵便サービス業																										
49 郵便業（郵便事業を含む）																										
I 卸売業、小売業			1	1										2	2											
50 食品卸売業																										
51 服装・衣服等卸売業																										
52 飲食料品卸売業																										
53 建設材料、鉱物・金属材料等卸売業																										
54 機械器具卸売業																										
55 その他の卸売業																										
56 各種商品小売業			1	1										2	2											